

2010.5.31

◎ のへじ

第131号

議会だより



野辺地町漁協荷捌き施設落成式

3月定例会

平成22年度予算	2
一般質問	4
委員会報告	11

平成22年度当初予算決まる

平成22年度予算の内訳

平成22年度

《一般会計予算》

55億2,700万円

《特別会計予算》

国民健康保険事業

20億4,684万円

老人保健

8千円

後期高齢者医療

2億7,968万4千円

介護保険事業

13億7,903万1千円

介護サービス事業

1,263万6千円

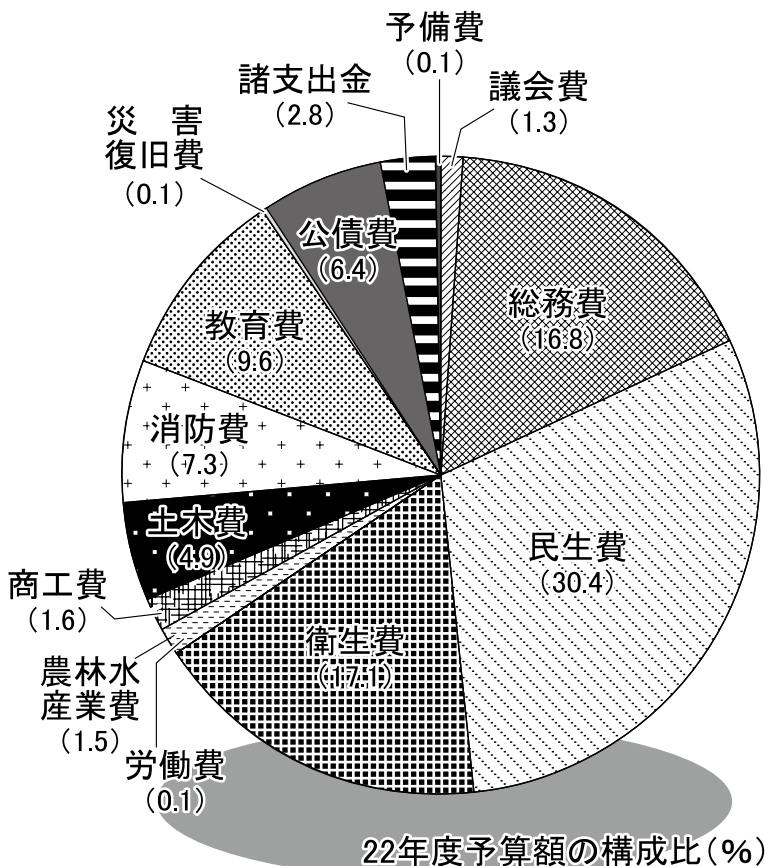
下水道事業

2,113万5千円

水道事業

収益的支出 2億8,748万円

資本的支出 1億8,229万2千円



(単位:千円)

議会費	69,974
総務費	930,945
民生費	1,677,871
衛生費	945,482
労働費	4,245
農林水産業費	82,721
商工費	90,200
土木費	273,758
消防費	406,098
教育費	528,799
災害復旧費	1
公債費	356,040
諸支出金	155,866
予備費	5,000

平成22年3月定例会は、3月8日に招集され、18日までの11日間の会期で行われました。町長から、平成21年度一般会計・特別会計の補正予算7件、平成22年度一般会計・特別会計の当初予算8件、その他条例案等12件が提出され、審議の結果いずれも原案どおり可決、承認、同意いたしました。なお、3月16日に開催された一般質問は、4ページから10ページに掲載しています。

3月定例会こんなことを決めました (3月8日~18日)

3月議会の議案審議結果

野辺地町職員定数条例の一部を改正する条例

全員賛成可決
現状の職員数を考慮し、職員定数を改めました。

◎改正の内訳

※改正があった部分のみ掲載しています。

町長部局

121人 ↓ 99人

教育委員会部局

30人 ↓ 27人

農業委員会部局

3人 ↓ 3人
(うち、1人は兼任)

地方公営企業部局

8人 ↓ 6人

合計

167人 ↓ 139人

(兼任の職に係る職員の数には参入しない)

野辺地町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

全員賛成可決
医療職給料表の表記を整理するため改正いたしました。

野辺地町国民健康保険条例の一部を改正する条例

全員賛成可決
納税者の一期ごとの納付額の軽減を図るため、納期を七期から八期に改正いたしました。

野辺地町職員の自己啓発等休業に関する条例

全員賛成可決
大学等における修学や国際貢献活動を希望する常勤職員に対し、職員としての身分を保有したまま職務に従事しないことを認める休業制度を設けるものです。

野辺地町職員の修学部分休業及び高齢者部分休業に関する条例

全員賛成可決
職員の能力向上を図るための修学部分休業及び高齢者職員の様々な事情や若年層との

ワークシェアリング等の観点から高齢者部分休業制度を設けるものです。

野辺地町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例

全員賛成可決
防災行政無線施設のデジタル化に伴い、その設置及び運用について条例を整備するものです。

野辺地町消防団車両整備基金条例

全員賛成可決
消防団車両の計画的な整備を進めるための基金を設置いたしました。

野辺地町固定資産評価審査委員会委員の選任の件

全員賛成可同意
野辺地町固定資産評価審査委員会委員の松山武則氏及び西館司氏の任期が平成二十二年

三月三十一日をもって満了するので、委員の再任に同意いたしました。

町道の路線認定の件

全員賛成可決
町道の路線を新たに認定いたしました。

路線番号	路線名	起 点	敷地の延長
		終 点	
109	木明・目ノ越線	野辺地町字有戸鳥井平169番 1	6,765.00m
		野辺地町字向田316番 1	
28-1	野辺地・寺ノ沢線支線	野辺地町字下坂82番11	180.00m
		野辺地町字赤坂40番10	
6-1	馬門温泉線支線	野辺地町字馬門22番 1	42.00m
		野辺地町字馬門22番 3	
8-80-1	市内支線80号線支線	野辺地町字赤坂50番 6	46.00m
		野辺地町字赤坂50番 4	
100-44	野辺地・船橋線	野辺地町字野辺地95番 1	650.00m
		野辺地町字船橋 9 番47	

国民読書年への 取り組み等について

野村 秀雄 議員



むつ湾のへじ 特派員について

野村議員

むつ湾のへじ特派員が3名というのは少なすぎるのではないかと、各界各層より充実を図り、定期的に懇談会なども開催すべきと思いますが所見をお伺いします。

見直しを 検討する

亀田町長

「むつ湾のへじ特派員」は、現在、東京都在住の2名、大阪府在住の1名の計3名の方に委嘱しており、今後の町の観光振興等を図っていく上でも、特派員の人数の見直しや、懇談を通しての情報交換のあり方等について検討することにしておりま。

烏帽子岳登山道を 整備宣伝しては？

野村議員

あるがままの自然に親しむ旅行者が増えていきます。烏帽子岳登山道をトレッキングコースとして整備宣伝してはどうかお伺いします。

前向きに 取り組む

亀田町長

トレッキングは、近年静かなブームとなっており、私も烏帽子岳を観光振興の面からも整備し、宣伝していく必要があると考えております。そのため、平成20年度は一番橋、21年度は二番橋を整備し、22年度は三番橋の改修工事を予定し、全て完成すれば登山者も安心して登ることができると思っております。いづれにしても、町外から町に誘客を図って観光を推進していくための一つの方

国民読書年の 取り組みは？

野村議員

今年度は国民読書年で、国を挙げて読書に取り組みようとしていますが、当町の取り組みについて、また図書購入費として交付されている交付税の措置率についてもお伺いします。

啓発に努める

教育長

国民読書元年にあたり、これまで進めてきた事業を更に精査し、各世代に対応したサービスを充実するとともに、図書館と学校教育活動と連携を図り、「親子100冊読書運動」や「家読標語募集」、更には「家読

増加する自殺者 対策について

野村議員

当町は、自殺率において平均の2倍以上の状況が続いており、町としての対策を早急に進めるべきと思えますが所見をお伺いします。

重要な課題と 認識

亀田町長

野辺地町の自殺者数は、ここ最近増加傾向

にあり、町健康づくり協議会でも重要な課題となっております。町では、関係機関・団体と協力しながら「こころの健康地域ボランティア講座」を年4回、開催する予定にしております。内容は、こころの病の前兆サインを早期に発見し対応できる医学的知識のほか、学校・家庭・職場での対策、また、生活困窮・多重債務の経済問題や虐待・暴力・犯罪被害への対応などを計画しております。また、4月から弁護士のご協力をいただいで「無料法律相談」を毎月1回開催いたします。相談内容は、民事に関することや虐待問題など全てに関するものであり、このことよって経済的あるいは家庭での問題の解決の糸口がみつかり、自殺に至る原因が1つでも解消できればと考えることができます。ご理解を賜りますようお願いいたします。

通学バスの用途廃止後の 利用方法について

木明 和人議員



通学バスの今後の 利用方法は？

木明議員

現在有戸目の越地区の児童生徒の通学のために、小学校中学校各1台ずつ通学のためのバスが運行されています。しかし来年度4月より生徒数の減少等により1台を減じて運行することとなりますが、バスの今後の利用方法、また、何年に購入したのか。購入時、省庁よりの補助金を利用していると思うが、残存期間が何年まで残っているのか。別の目的にこのバスを利用しようと考えているとすれば、用途外使用のため財産処分をしないてはならないと思いますが、関係省庁との打ち合わせはどこまで進んでいるのか、お伺いいたします。

町有バスに 用途変更する

亀田町長

若葉小学校のスクールバスは平成15年度に購入した29人乗りのバスで、購入時の財源として経済産業省が所管する電源立地対策交付金を活用いたしました。耐用年数は6年となっており、21年度末で補助事業により取得した財産の処分制限期間が終了することになります。手続として、既に教育委員会定例会で本年3月31日をもってスクールバスとしての用途を廃止することについて承認を得ており、今後、国・県へ用途変更の協議をすることとしており、4月からは町有バスとして、各種団体が行う視察研修や福祉活動、スポーツ・文化活動などの活力ある町づくりのため運行する予定であります。

漁協隣接の手付かずの 町有地はどう活用する？

漁協施設隣接町有 地の活用策は？

木明議員

浜町地区には現在、漁協の荷捌き施設が建設され、完成が間近となっております。外観も向かいの常夜燈公園と心地よい調和が取れていると感じております。しかし、その手前

関係団体と 検討していく

亀田町長

には千八百平方メートルもの手付かずの町有地が存在しており、今後、町ではこの町有地をどのように活用するのか、お伺いします。

この町有地は、県が平成13年から水産基盤整備事業で海面埋立を行った一万六千平方メートルの一部であり、平成19年に常夜燈公園が完成、さらには、近々、野辺地町漁業協同組合の新事務所付の新たな荷捌き施設が完成することになっておりますが、埋立地の町有地部分千八百九十平方メートルについては、ご指摘のとおり、現在、更地の状態であり、この町有地部分の整備については、平成16年に報告された「常夜燈公園基本計画調査報告書」に基づき、直売、軽食、歴史資料展示、トイレ等を兼ね

備えた直販施設、いわゆる「海の駅」を建設する予定で、当初、計画されておりましたが、「元気のへじ観光産業活性化協議会」で検討した結果、施設を建設した後の管理運営方法、維持費や採算性等の問題が提起され、協議の結果、経営は困難という結論に達したことから、現在、建設に向けての具体的な検討段階には至っていないところであります。ただ、埋立地に確保した町有地が、今の更地の状態のままで良いとはいえませんので、今後の町の産業振興、観光振興の観点からも直販施設等の整備は必要であると認識しており、その施設整備に向けて、鋭意、検討して参りたいと考えており、今後も引き続き、関係団体と意見交換を重ねながら、町の産業・観光振興のために、施設整備も含めて取り組んで参る所存であります。



梅村 毅 議員

22年度予算案について

過疎地域指定について

梅村議員

当町が過疎地域として指定を受けることになり、過疎地域自立促進のための地方債など財政的に有利な面もあると言っているが町民に理解できる説明を求めます。

有利な特別措置の適用を受けられる

亀田町長

当町が過疎に指定されたのは、人口要件と財政要件の2点が該当することになったためであり、この法律の目的は過疎地域が自立促進を図り、住民福祉の向上、雇用の増大、地域格差の是正に寄与することを目的としています。この計画に基づき事業を実施した場合、有利な起債の貸付や補助金のかさ上げのほか行政、金融、税制などで有利な特別措置の適用を受けることができます。今後は、この法律の優遇措置を十分に活用した自立促進計画のもとに事業展開を図り、町の活性化を推進したいと考えております。

土庄町への職員派遣について

梅村議員

香川県土庄町で開催

されるシンポジウムで大坂城残石記念公園と当町の愛宕公園との友好公園協定の締結のため職員特別旅費を予算計上しているが、調印式に出席するのは総務企画、教育委員会事務局各課長、課長補佐等を提言したが町長の考えをお伺いいたします。

議員提案を考慮する

亀田町長

今年度は、土庄町で「小豆島 石のシンポジウム」が開催されます。土庄町からご提案があり、愛宕公園と大坂城残石記念公園との「友好公園」協定の調印を行うことが急浮上しました。調印式に参加する交流団メンバーは、8名で予算計上していますが、人選につきましては、まだ決定しておりません。各分野で将来の交流を担う若い職員も含め、人選していきたいと考えております。

サンビレッジのへじの利用料金について

梅村議員

健康づくりのため、サンビレッジのへじの施設を利用している65歳以上の高齢者に対する料金を減額していただけないか、お伺いします。

不公平感が生じないように考慮する

亀田町長

町民一人ひとりの健康は、極めて重要であることから、いくらかでも安い料金で多くの町民に利用していただきたいと思っております。財政厳しい折でありまして、利用者にとって不公平感が生じないよう考慮し、協議検討したいと考えております。

今後のまちづくり計画について

梅村議員

今までの第4次野辺地総合計画は、実現し

たのか。また、少子高齢化や公共施設の老朽化について喫緊の問題となっている。過疎指定を受けた場合、まちづくり計画の中でどのように位置づけていくのか所信をお伺いします。

現在策定中である

亀田町長

現在の第4次野辺地町総合開発計画は、財政再建を最大の目標に、独自のまちづくり4プランを掲げ町政運営に取り組んできました。現在までの実績として、平成18年度の一一般会計決算において、公約どおり実質収支額を黒字に転化できたこと、その後も毎年、一般会計の実質収支において黒字額を維持し、さらに20年度に国民健康保険財政調整基金、21年度に水道会計からの長期借入も全て返済しました。今後、10年間のまちづくり計画の

大きな課題として、少子高齢化をにらんだ対策と公共施設の整備が必要になっていくものと考えられます。従来3小学校システムが子供達にとって、最適な教育環境となっていないのか考えなければならぬ時期になってきております。このほか、役場庁舎、中央公民館、給食センターなどの老朽化した施設の整備も喫緊の課題であります。公共施設の整備には、役場庁舎建設を除いて、過疎対策事業債を充当することができず、小中学校などの整備については補助金のかさ上げが適用されませんので、これらの整備にあたっては、過疎地域自立促進計画の中に盛り込みながら整備したいと考えております。「まちづくり総合計画」は、現在策定作業中ではありますが、このなか「過疎地域自立促進計画」を明確に位置づけて事業の展開を図ります。

親局鉄塔基礎工事の
岡山議員

防災行政無線工事
の変更契約について

町政全般について問う

岡山 義廣 議員



強化が必要となり増額の変更契約を専決処分したが、変更追加金額はいくらか伺いたい。

基礎工事の強化が必要となった

亀田町長

防災行政無線施設整備工事の変更追加金額は、五百三十二万三千五百円です。

補正予算説明を全議員にしなかった理由は？

岡山議員

平成二十一年度一般会計補正予算12号について、一部の議員を招集して事業説明をし、理解を求めたと聞いている。一部議員以外の議員を招集しなかったのはなぜか、その理由を伺いたい。

意識的に除外したものではない

亀田町長

このことにつきましても、事業内容の策定

までに時間的な余裕がなかったこと、その中で、いかに議員の方々はその概要をお知らせしたら良いかということとで協議した結果、正副議長、各常任委員長、特別委員会委員長、議会運営委員長としたもので、特定の議員を意識的に除外したということのようなものではありません。

保育料、給食費を無料化しては？

岡山議員

少子化を解消する手厚い対応として保育料、学校給食費を無料化することにより大きな効果を望めると思うが町長の考えを伺いたい。また無料化することによって、どのくらいの予算が必要なのか。平成22年度2月までの給食費の未回収の総額をお伺いします。

現在は考えていない

亀田町長

平成22年度の当初予算では、収入として年間保育料を約七千八百万円と見込み、各私立保育園の運営委託費に充当することにしており、仮に無料化したとしても、同額の一般財源が必要となり、現在の財政状況の中で無料化は大変厳しいものがあります。しかしながら、保護者の皆様方から安くしてほしいという要望が寄せられていることも事実で、子育て支援対策の観点から、保育料の見直しについて検討して参りたいと考えております。一方、学校給食費は、仮に無料化すると、年間五千九百九十万円の一般財源が必要となり、財政的な影響が非常に大きいことや全国的にも無料化している自治体は極めて少数であることから、現在、無料化は考えておりません。なお、22年2月末現在の学校給食費の未納額は、21年度分が

旧港湾敷地のその後の経過は？

岡山議員

旧港湾敷地売却、建物撤去のその後の経過について伺いたい。また、産業廃棄物、建設系廃棄物、種類、金属くずのマニフェストの提出を求める。

機会あることに申し入れている

亀田町長

旧港湾敷地内の建物「新事務所」の解体撤去につきましては、昨年12月15日に、マルイチ横浜から新工場の建設計画でE.U向け製造ライン確保と冷凍庫確保の必要から、当初計画より工場の規模が大きくなり、建ぺい率確保の関係で、マルイチ横浜所有の土地に隣接

約三百五十万円、昭和63年度から平成20年度までの21年間の分が約千八百六十万円となっております。

する「(株)エクセルファクション」の借用地を購入したい旨の依頼書、そして12月16日には事業所開設計画書(案)が提出されて、計画では平成22年6月ごろから建設工事に着手したいとのことであり、新事務所の解体撤去については、機会あるごとに申し入れをしており、新工場に向けての新たな動きがあった場合には、議員の皆様にご報告をし、ご意見をいただきますので、よろしく願います。産業廃棄物、建築系廃棄物、種類、金属くず(鉄)のマニフェストについては、土地及び工作物を購入したマルイチ横浜が解体処分することになっており、発注者であるマルイチ横浜にマニフェストが処理業者から提出され、町には、マニフェストがなかったと提出することができません。

行在所改修完了時に 特別展を開催してはどうか

江渡 正樹 議員



特別展を 開催しては？

江渡議員

役場庁舎裏に存在する行在所は、歳月を重ねたことにより傷みが随所に見られ「野辺地町文化財を守る会」「財団法人東日本鉄道文化財団」「野辺地町」で改修実行委員会をつくり、改修工事をしていくところであります。改修完成を記念して仮称「明治の野辺地」と題した建立当時の時代背景及び明治時代に関する資料の特別展の開催は、浄財を寄付された方々へのお礼と同時に町民の皆様が町の歴史に誇りを持つ心に寄与するものと思いたす町長の考えをお伺いいたします。

関係団体と 協議する

亀田町長

行在所の修復につきましては、「野辺地町文化財を守る会」の募金活動による多額の寄附金、「財団法人東日本鉄道文化財団」の支援、更には多くの篤志の団体や個人の寄附金などをいただき、21年度から3カ年計画で修復を進めているところであります。この事業は、貴重な文化財を後世に伝えるということはもちろんであります。町民と行政が連携協力し、さらなる行在所の活用を図り、町の歴史や文化に対する理解や関心を高めることにより町民の連帯感を育み、個性あるまちづくりの拠点とするという趣旨のもとに実施しているものであります。歴史民俗資料館では、これまで江戸時代の海運をテーマとした特別展、昭和の高度成長期の野辺地を写真で

紹介するなど数々の特別展を開催してきましたが、行在所の改修完了を記念する特別展につきましては、開催の是非及び時期などについて今後検討して参りたいと思っております。町の歴史について町民が誇りを持つような特別展を開催し、浄財を寄附された方々へのお礼とするというご質問の趣旨には同感であります。なお、「文化財を守る会」でも修復が完了した後のイベント開催などを検討されているようでありますので、町といたしましては関係団体と十分協議しながら、修復された行在所を広く町民にお披露目する機会としていと思いたすのでご理解をいただきたいと思います。



改修工事計画が進む行在所

青い森鉄道開業に向けた取り組みは？ 河川改修事業計画について

古林 輝信 議員



駅周辺の整備 について

古林議員

平成二十年度九月定例会で、青い森鉄道開業に向けての駐車場・駐輪場の整備、駅前ロータリーなど駅周辺の整備、更に開業後における運行の利便性の維持について質問させていただきました。その後における関係機関との協議内容や基本計画の策定はどの程度進展しているのかご説明をいただきたい。

県と協議に入る

亀田町長

青い森鉄道開業に向けての野辺地駅前広場や駅周辺の整備について、県では経費もかさむことであり、時間をかけて十分検討していきたいとしておりましたが、このほど、県との話し合いにおいて、新年度から施設整備の協議に入りたいと申し

入れたところ、基本的に了承していただきました。町では、先行する整備に関する報告書もあり、新年度に駅周辺の関連団体と整備内容のすり合わせを行ううえで、県との協議に入っていきたいと考えております。

具体的な取り組みと 町民への周知は？

古林議員

開業準備に向けた具体的な取り組みを考えているのか。また、町の活性化への関連計画などについて、早い機会に、広く町民に知らせなければならぬと思います。町長の考えを伺います。

町民に愛される 事業を推進する

亀田町長

22年度事業で、駅隣にある観光物産PRセンターの館内展示ホール改修工事、町内8箇所

の観光案内版を「野辺地町みどころマップ」として全面改修します。また、開業日には青い森鉄道や駅周辺の関連団体と協力し、オープンセレモニーも実施したいと考えております。なお、運行計画については、県及び青い森鉄道から町、議会、町民に対して説明会を開催する予定です。開業後における利活用については、駅構内ギャラリー化事業、環境美化運動、掲示・案内スペース活用事業が計画されており、この他に駅周辺関連団体の実施するイベント等に対する支援や「防雪原林」をPR及びイベント化するための施策を県とも協議しながら進め、人をひきつける、にぎわいのある駅前を創出することにより、経済効果が波及していくような活性化事業を推進して、町民に愛される青い森鉄道を目指し、利活用の推進をしていきたいと考えております。

河川改修事業計画 の推移と進捗は？

古林議員

野辺地川河川改修事業は、当初の計画どおり進められていくのか。また、計画変更がなされているのか、現在までの進捗状況はどの程度なのか、お伺いします。

計画通り 進めていく

亀田町長

本事業は、平成12年度からは事業が休止となり、現在に至っているところであり、一点目の、当初の計画どおり進められていくのかという質問については、上北地域県民局地域整備部に問い合わせたところ、今後、県内の他の河川における整備状況等を踏まえ、事業の必要性について検討していくとの回答であります。二点目の計画変更がなされているのかとのご質問です

が、変更・見直しの予定は無いとのことであり、三点目の現在の進捗状況については、平成11年度末現在で、事業の進捗率は約80パーセントで、用地買収も同じく、約80パーセントが完了し、河川改修事業は休止をしておりますが、今年度は、城内橋下流付近から老人ホーム裏手のことぶき橋までの区間において、河床の土砂を掘削し、大雨による氾濫防止のための維持管理について実施していく計画で、今後、町としても県と連携を図りながら事業再開に向けて取り組んで参ります。

熊谷 晴雄 議員



駅前広場の雪の処理について

熊谷議員

町長は提案理由の中で、自然豊かな観光都市作りを目指し、積極的に町の観光情報を発信し、集客を図ると言っていますが、電車を降りてきた方々にとって、町の玄関口ともいえる現在の駅前広場付近を見ると、一番先に目に付くのは、真っ黒な雪の山で、あの状態では幻滅さえ覚えます。将来の町の観光振興のためにも、融雪溝を作り、積もった雪を流すようにすれば、大きく改善できると思います。町長の考えをお伺いします。

今後 検討していく

亀田町長

町は、平成17年に駅前広場の融雪工法と融雪溝の整備の可能性について検討した経緯があり、その概要は、融

雪工法では、地下水を利用する「地下水還元方式」概算工事費約三億円、年間の維持管理費約八百万円並びに地熱を利用する「地熱利用ヒートパイプ方式」概算工事費約八億円、年間の維持管理費なしの2種類が適応性の高い工法として、また、融雪溝については、水源の確保や完成後の運営、維持管理をどのようにするのかなどが問題点として挙げられ、当面は実現が非常に厳しい状況であると考えております。今後、青い森鉄道開業に向けて、野辺地駅の活用、駅前広場の整備等について、県と協議を進めることになっておりますので、その中で駅前広場の融雪対策も含め、総合的に検討して参りたいと考えております。

スキー場の圧雪車を更新しては？

熊谷議員

現在、まかど温泉スキー場で使用されている圧雪車は老朽化が進み、故障の際にも代替部品が手に入らない状態だと聞いており、買い替えをするべき時期ではないかと思うが、町長の考えをお伺いします。

更新に向け 検討する

亀田町長

圧雪車の更新の必要性については、十分認識しているところであり、現在と同規模の圧雪車を購入するとすれば、約二千六百万円の購入予算が必要と見積もられております。前回は、起債事業で購入しておりますが、今回、購入するとなると、国の補助事業等はないということであり、前回と同じく起債事業で購入するか、または一般



スキーシーズンに大活躍する圧雪車

財源で購入するかの、いずれかの方法になるうかと思いますが、厳しい財政状況から、何年度に購入するということをご理解いただければと思います。しかしながら、今後とも、当

町から優秀なスキー選手を輩出していくためには、コース整備など、恵まれた環境が必要であると考えますので、なるべく早い時期の更新に向けて検討して参りたいと考えております。

委員会報告

総 常任委員会

二月一六日

税 務 課

「町税等の収納状況」について説明を受けました。

委員から

『毎年、収納率が下がっているが、その対策を考えているのか。今までと何ら変わらぬ方法でやっているのか。』という質問に対し

税務課長から

『今年度、県内に在住する滞納者については毎月訪問しました。県外の滞納者については催告書を出しており、また、預金調査を実施し、差し押さえできるか検討しているところです。町内については随時毎月訪問しており、毎月ゼロの付く日と5の付く日は夜

お、22年度の税率は変わりませんで、予算に影響がありません。』と回答がありました。

企画財政課

「企業誘致」、「平成22年度一般会計予算の概要」について説明を受けました。

委員から

『企業誘致は、白紙に戻ったような状態か。』という質問に対し

企画財政課長から

『田子なめこ農場の理事長さんは今後も継続していくという意思表示をしております。』と回答がありました。

町 民 課

「国保税の納期の変更」、「平成22年度の国保制度の主な改正点」について説明を受けました。

委員から

『課税限度額を4万円引き上げると、22年度予算はどうなるのか。』という質問に対し

町民課長から

『国保税の課税限度額の引き上げは、中・低所得者層の緩和のため、地方税法の改正により決められます。な

ば4年制の大学へは行けないということか。』という質問に対し

総務課長から

『大学修学の場合、1回、2年間の延長もできます。』と回答がありました。

管 財 課

「平成21年度建設工事入札結果」、「防災行政無線施設整備工事の進捗状況」について説明を受けました。

委員から

『地質調査は事業計画の時に調査したのか、铁塔を立てる寸前にやったのか、どの場所を調査したのか。』という質問に対し

管財課長から

『設計の段階で、野辺地小学校、川上クリニクスのデータを基本に20メートルを基本に铁塔の基礎設計をしました。地質調査は工事施行業者が車庫を解体した後、その場所ですべて基礎の決定をすることにしておりまし

が、20メートルに達しても硬い地盤とならず、27メートルまでの調査となりました。地質調査した段階で、強度を保つため変更を余儀なくされたものです。』と回答がありました。

健康福祉課

「子ども手当の創設」、「わかば保育園大規模改修工事の経過」及び健康増進センター

委員から

『子ども手当の創設』、「わかば保育園大規模改修工事の経過」及び健康増進センター

健康福祉課長から

『わかば保育園の追加工事が出た経緯は何か。』という質問に対し

健康福祉課長から

『工事施工中に手付かずの古い箇所などが発見されたことから変更契約で追加発注しました。』と回答がありました。



大規模改修工事を完了したわかば保育園

委員から

『男性の自殺者増加に対する対策をどのように考えているのか。』という質問に対し

健康増進センター所長から

『県内でも津軽地区は経済的な理由、南部地区は疾患を持った方の自殺が多いという統計が出ています。原因を追究することは難しいし、複雑で入りにくい問題でもあり、22、23年度は、講演会での講師の助言を生かし、地域全体が育つよう地域組織力を高めていくことを重点に、傾聴する、話を聞く、といったボランティア育成講座を産業観光振興課と共催して、多重債務の対応等を考えていき

いと思っています。』と回答がありました。

学校教育課

「インフルエンザワクチンの接種状況」「町長と教育委員との懇談会の概要」「野辺地中学校耐力度調査の結果」「スクールバスの一本化」について説明を受けました。

委員から

『教育長の新年度のあいさつの中で一貫教育という話がありましたが、どういう考えのもとで話されたのか。』という質問に対し

教育長から

『小学生が中学校へ行ってもスムーズに生徒指導、学力の面でも伸びていくための施策は何か。また、中学校の先生が小学校に出前講座をして授業を行う。小学校の先生が中学校の教科でどういう授業をやっているのかということ等を調査する機会を設けていきたいという考えと、他町

村では小中学校が同じ敷地内に校舎を設置し廊下でつなぐ等の検討をされており、野辺地の教育も将来的に野小、若葉、馬門も少子化の進行、学校施設の老朽化を考えた場合に中学校の敷地の中に、例えば小学校を建築して中学校と連携を図るということも視野に入れた検討課題という意味での考えです。』と回答がありました。

社会教育・スポーツ課 中央公民館、歴史民俗資料館

社会教育・スポーツ課及び各施設等の「平成21年度主要施策の実施状況」について説明がありました。

委員から

『図書館の開館時間を週1、2回、夜の8時まで開館してほしいという方もいると思う。調査して必要であればそういう時間帯を設けてほしい。』と要

望がありました。

建設 産業 常任委員会

二月二日

産業観光振興課

「水産物荷捌き施設整備事業の進捗状況」「第2回地域商店街活性化対策事業（プレミアム商品券）」「空き店舗対策事業に関するまんが図書館の設置」について説明がありました。

委員から

『現在建築中の漁協荷捌き施設のトイレの一般の方の利用について、話し合い等はしているのか。』という質問に対し

産業観光振興課長から

『荷捌き施設のトイレ使用については、11月27日に野辺地町漁協と協議を行い、使用については了解をいただきました。ただ、使用にあたっては、町側でも経費について応分の負担をしていただきました。』

いということから、新年度の当初予算に計上をすることにしております。また、この後、野辺地町漁協と再度協議のうえ、覚書等の書面を取り交わしたいと考えております。』と回答がありました。

委員から

『行政における覚書等の取り扱いについては、内容を吟味しなければならぬと思いますので、慎重を期していただきたい。』という要望がありました。

『「空き店舗対策事業の平成22年度予算の金額はどのぐらいなのか。』という質問に対し

委員から

『計画概要は、2つの店舗を借りて、2名の失業者を雇用し、中心商店街活性化のための各種取り組みを行うという内容でありまして、平成22年と23年の2年間委託するもので、22年度の事業費は約七百二十万円を計画しております。』と回答がありました。

委員から

『まんが図書館の今後の計画はどうなっているのか。』という質問に対し

『まんが図書館は、



一般利用も可能となった荷捌き施設トイレ

建設環境課

「降雪、積雪の状況」「建設工事の発注状況」「J R大湊線跨線歩道橋の撤去のスケジュール」について説明がありました。

委員から

『除雪に関する苦情はどのぐらい来ているのか。また、その苦情は、国道や県道に隣接した地域のものか、町道の苦情が多いのか。』という質問に対し

建設環境課長から

『苦情については、業者によって全くない業者や相当の苦情が来ている業者もあり、まだ集計しておりませんが、概ね40件ほどと認識しており、苦情の区域については、町道に関するものがほとんどです。』と回答がありました。

委員から

『金沢町と浜町を通る漁港道路の自動車等の通行に対し、金沢町と浜町の自治会長と漁協組合長の連名で要望



野辺地の言葉にこだわった舞台演出を心掛けている

輝け!

のへじびと

第3回

— 劇団へのへのへのへじ —

劇団へのへのへのへじは、平成9年2月の生涯学習フェスティバルにおいて旗揚げし、現在まで17作品24公演を上演してきました。公演は、町の文化祭をメインに、上十三演劇祭への参加や老健施設での寸劇、他町での児童劇の声優など幅広く行ってきました。今回は、代表を務める濱谷浩文さんにお話を伺ってきました。

○劇団創設のいきさつは?

かつて、劇団「とまれ」という劇団があり、その構成メンバーが新たに芝居がしたいということで結成されました。

○現在の団員数は?

男性4名、女性6名で、年齢層は20代から60代とさまざまです。

○稽古はいつ、どのようにしていますか?

公演のある時は、中央公民館で週1回、本番が近くと週2、3回稽古しますが、台詞を憶えるため各自練習もしています。

○今後の公演予定は?

昨年も町文化祭で公演しておりますので、今年もぜひやりたいと思っておりますし、自主公演もできればと考えています。

○町民の皆様へ告知したいこと等あれば?

現在、「へのへのへのへじ」では、役者、裏方、脚本家を老若男女問わず大募集中です。脚本は、全てオリジナルで野辺地の言葉での芝居に力を入れていきます。興味のある方はぜひ参加して、野辺地町民に笑顔をお届けませんか?

○入団等に関するお問い合わせは?

野辺地町新町
「泉フラーワ」濱谷まで
ご連絡下さい

TEL 64-4063



この欄では毎回、スポーツ、芸術などの活動をしているクラブを紹介します。希望者は議会事務局までご連絡ください。

6月議会の日程 (予定)

- 16日(水)
 - ・町長が議案の提案理由を説明します。
 - ・各委員会の委員長が活動の報告をします。

17日(木)

- 一般質問
 - ・議員本人があらかじめ提示したテーマで質問し、それに町長ほか町執行部が答えます。

18日(金)

- ・定例会初日に説明された議案に対し、質疑・討論・採決が行われます。

編集後記

今月は議会だより第131号をお届けいたします。

本号は、3月定例会の審議内容を要約して編集しております。

平成二十二年年度一般会計、特別会計など提出された議案につきましては、慎重に審議した結果、原案どおり可決されました。

緑が目にしみる季節となりましたが、肌寒い日々が続く今日この頃です。

町民の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、編集後記といたします。

(倉岡)

議会広報委員会

委員長	木明 和人
副委員長	古林 輝信
委員	倉岡健次郎
委員	四戸 弘志
委員	蛸名 猛
委員	野村 秀雄